

家庭犬にデザイナーフードを与え、 がん予防効果を直接的に検証する世界初の試み

附属比較がんセンター センター長 丸尾 幸嗣

アピールポイント

- ・今まで誰もなし得なかった、がん予防効果を直接検証する。
- ・がん化学予防を植物エキス入りのデザイナーフードにより実現する試みである。
- ・家庭犬は自然発生腫瘍が多く、寿命が短く、食餌は100%管理できるので、食餌によるがん予防試験には最も適している。

研究概要

がん好発犬種であるゴールデンレトリバーの5～6歳齢に抗がん活性の認められたローズマリーと緑茶エキス入りのフードを与えて、がんの発生を抑制できるかを二重盲検試験により3年間観察する。

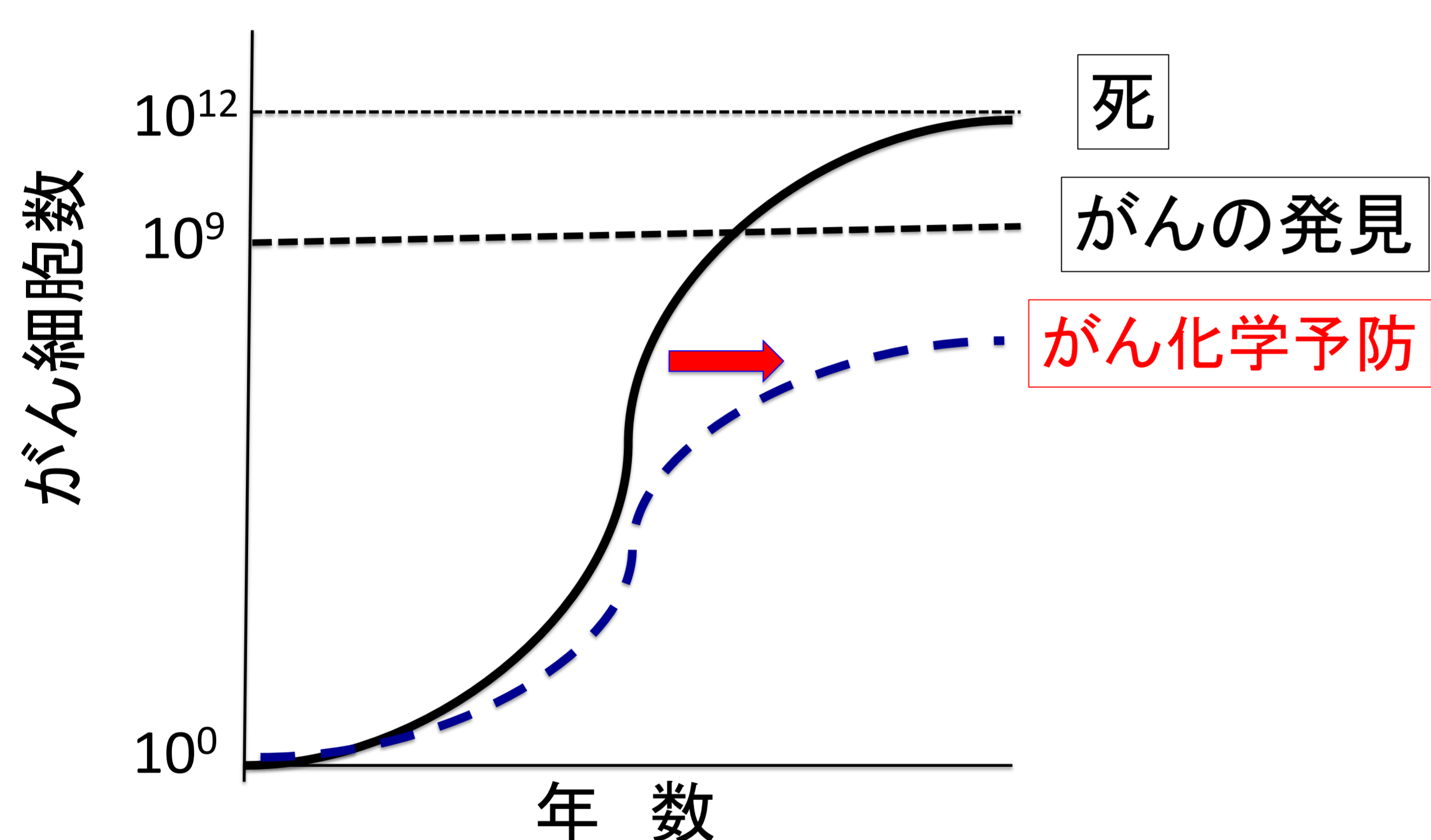


図1. がん化学予防の考え方

◎がんをなくす，発見を遅らせる

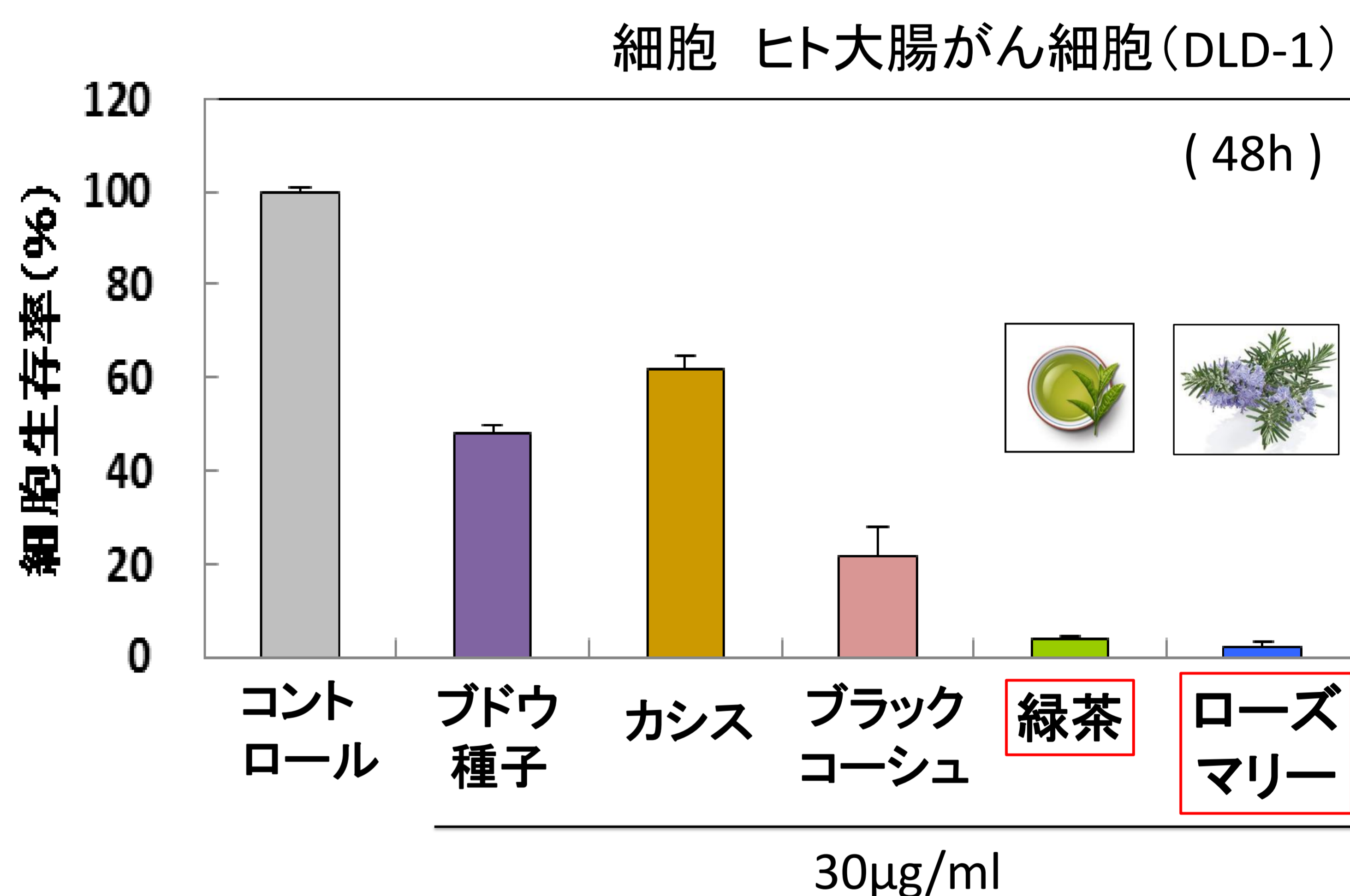


図2. 植物エキスのがん細胞増殖抑制効果

◎ローズマリーエキスと緑茶エキスに強いがん細胞増殖抑制効果が認められた

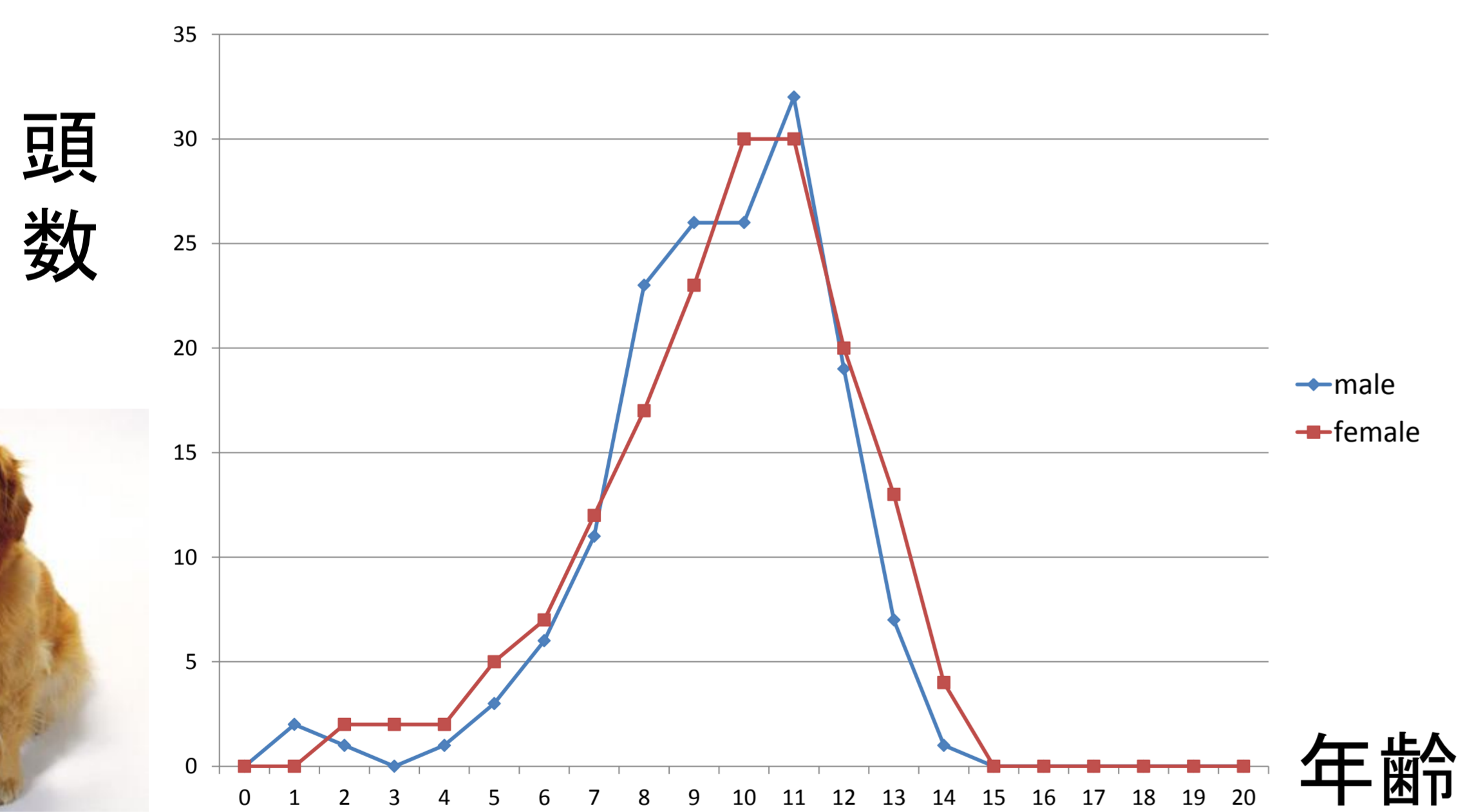


図3. ゴールデンの腫瘍発生数と年齢

◎5, 6歳齢から増加する

「成果・期待される効果」

- ▶ デザイナーフードによりがんを予防できる
- ▶ 家庭犬のがんを減らす，健康寿命を延ばす
- ▶ ヒトへの応用



活用分野・用途・応用例：

がん予防フードの実用化・難治性疾患のフードによる予防研究の検証・サプリメントの効能評価・ヒト予防研究モデルとしての家庭犬の有用性

本研究に関わる知的財産関連情報

特願2014-258968「癌細胞増殖抑制組成物」 (2014.12.22出願)